

# 特定施設使用届出書

法律改正後の30日以内に届出 → ○年△月□日

吹田市長宛

住所 吹田市泉町○丁目○番○号  
 届出者 ○○株式会社  
 氏名 代表取締役 ○○ △△

〔氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名〕

- 騒音規制法第7条第1項の規定により、特定施設について、次のとおり届け出ます。
- 振動規制法第7条第1項

工場又は事業場の名称	○○株式会社吹田工場 (電話番号: 6384-0000)	着工予定年月日	○年×月△日				
工場又は事業場の所在地	〒564-0000 吹田市泉町×-○-□	使用開始予定年月日	○年□月○日				
工場又は事業場の事業内容	○○製造業	※整理番号	X				
常時使用する従業員数	○○人	※受理年月日				年 月 日	
用途地域	工業地域	※施設番号					
騒音(振動)の防止の方法	別紙のとおり	※審査結果					
		※備考					
特定施設の種類	型式	公称能力	数	使用開始時刻(時・分)	使用終了時刻(時・分)		
騒音 振動	二 送風機	○○-□□	7.5KW	1台	24時間		
騒音 振動	二 空気圧縮機	△△-××	7.5KW	2台	8:00	17:30	
騒音 振動	一のハ せん断機	□□-××	2.0KW	1台	8:00	17:30	
騒音 振動							
騒音 振動							

備考 1 特定施設の種類欄には、騒音規制法掲げる項番号(号番号)及びイ、ロ、ハ等の別表第1)に

仕様書(カタログ)に記載されている型式・公称能力

称を記載すること。

- 騒音の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、消音器の設置、音源室内の防音措置、遮音屏の設置等騒音の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- 振動の防止の方法の欄の記載については、別紙によることとし、吊基礎、直接支持基礎(板ばね、コイルばね等を使用するもの)、空気ばねの設置等振動の防止に関して講じようとする措置の概要を明らかにするとともに、できる限り図面、表等を利用すること。
- ※印の欄には、記載しないこと。
- 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。